

2021 年度
(第 7 期)
事 業 報 告 書

自 2021 年 1 月 1 日
至 2021 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2021年度（第7期）事業報告書

1. 事業の概況

当財団は、医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

わが国の総人口は、2008年をピークに減少局面を迎え、2060年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率（65歳以上人口が総人口に占める割合）は40%近い水準となると推計されております。

既に到来している超高齢社会、人生100年時代、その中で国民の皆が生き生きと活躍し、安心して暮らしていくためには、健康が維持されていること、活躍の場（生き甲斐）があることの両者が重要とされ、地域医療・福祉の振興の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の維持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらには地域共生社会の実現にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当財団は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公1）

助成・褒賞事業では、定款第4条第1項第1号に定める「地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第10回杉浦助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な研究や活動の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間：2021年1月1日から同年2月28日まで 応募数：92件（研究分野63件、活動分野29件） 助成授与数：16件（研究分野7件、活動分野9件） 助成額：総額9,974,388円 （研究分野6,390,000円、活動分野3,584,388円）
授与式等	2021年7月8日に帝国ホテル東京で、第10回杉浦助成の授与式を開催いたしました。また、第10回杉浦助成の内容、第9回杉浦助成の成果報告を当財団ホームページに公表いたしました。

B. 第10回杉浦賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間：2020年10月1日から同年12月31日まで 応募数：17編 褒賞授与数：3編 褒賞内容：表彰盾及び副賞2,000,000円（総額6,000,000円）
授与式	2021年7月8日に帝国ホテル東京で、第10回杉浦賞の授与式を開催いたしました。また、第10回杉浦賞の内容を当財団ホームページに公表いたしました。

第10回杉浦助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長／愛知医科大学 特命教育教授
委員	安藤 明夫	中日新聞編集委員（医療担当）
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長
委員	岡田 啓	元 愛知医科大学 教授 薬剤部長／株式会社スギ薬局 D I 室
委員	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
委員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
委員	藤田 あゆみ	株式会社スギ薬局 D I 室
委員	堀 美智子	株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者／スギホールディングス株式会社 社外取締役

（注）五十音順で記載しております。

第10回杉浦賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授／東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授／一般社団法人日本応用老年学会 会長
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員／一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 理事長
委員	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長

（注）五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	2,591,378	2,591,378
その他雑収益	0	2,591,378	2,591,378
経常収益計	0	2,591,378	2,591,378
(2) 経常費用			
事業費	29,686,500	24,854,155	△4,832,345
消耗品費	10,000	3,160	△6,840
印刷製本費	2,540,000	3,755,709	1,215,709
その他	2,540,000	3,755,709	1,215,709
諸謝金	3,450,000	1,000,000	△2,450,000
選考委員謝礼	2,450,000	1,000,000	△1,450,000
その他	1,000,000	0	△1,000,000
支払手数料	0	24,200	24,200
その他	0	24,200	24,200
租税公課	1,021,500	713,747	△307,753
支払助成金	10,000,000	9,974,388	△25,612
支払寄付金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	150,000	18,711	△131,289
会議費	4,166,000	2,477,660	△1,688,340
助成・褒賞贈呈式会議費用	3,816,000	2,450,760	△1,365,240
選考委員会会議費用	350,000	20,100	△329,900
その他	0	6,800	6,800
旅費交通費	2,139,000	646,111	△1,492,889
選考委員旅費交通費	469,000	72,368	△396,632
贈呈式参加者旅費交通費	1,170,000	442,648	△727,352
その他	500,000	131,095	△368,905
通信運搬費	210,000	240,469	30,469
経常費用計	29,686,500	24,854,155	△4,832,345
評価損益等調整前当期経常増減額	△29,686,500	△22,262,777	7,423,723
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△29,686,500	△22,262,777	7,423,723

経常収益は259万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものです。

また、経常費用は2,485万円で、予算比△483万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- ホームページ掲載用の第9回杉浦助成成果報告発表映像、授与式放映用の10周年記念映像、授与式ダイジェスト映像に係る制作費用の予算未計上（+90万円）のほか、報告集の作成部数増等（+32万円）により、印刷製本費が予算を上回ったこと（+122万円）
- 第11回杉浦賞・杉浦助成応募のウェブフォームに係る支払手数料を予算計上していなかったこと（+2万円）
- 杉浦助成選考委員の減員、授与式ゲスト講演者の講演料辞退により、諸謝金が予算を下回ったこと（△245万円）
- コロナ禍での授与式参加人数の減少により、会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△318万円）
- 通信運搬費等が予算を上回ったこと（+3万円）、消耗品費、支払助成金、広告宣伝費、租税公課が予算を下回ったこと（△47万円）

(2) 調査・研究事業 (公2)

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は6回開催(いずれもオンライン形態)いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第4期：地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～】

	開催日	テーマ/講師
第7回	2021年 1月7日 (木)	地域包括ケアと災害医療対策の連動～心理学「スキーマ」の問題～/ 松本 良二 (千葉県野田市保健所 所長)
第8回	2021年 3月18日 (木)	じゅんちゃん一座のとりくみ～「普及・啓発」からのひろがり～/竹内 淳子 (じゅんちゃん一座 座長/十和田市立中央病院 メンタルヘルス科 診療部長)
第9回	2021年 5月13日 (木)	科学的な介護、自立支援介護の実現のための研究—雰囲気・気持ちなどの ADL への効果— —介護業務の特徴別の新分類 (ロボット開発のため) —/岡本 茂雄 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員/株式会社ノバケア 代表取締役)
第10回	2021年 7月15日 (木)	訪問看護を基盤とした地域共生社会への支援/高砂 裕子 (一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者)
第11回	2021年 9月9日 (木)	松戸市における地域包括ケア体制構築の現在地～かかりつけ医が介護や病院、行政と力を合わせればできること～/ 川越 正平 (あおぞら診療所 院長 (松戸市医師会 副会長))
第12回	2021年 11月11日 (木)	高齢者ケアのパラダイムシフト～制度から地域へ：ヘルスケア専門職に求められるものは?～/ 松岡 洋子 (東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 准教授)

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長/慶應義塾大学 名誉教授
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長/公益財団法人日米医学医療交流財団 理事/昭和大学 客員教授

役名	氏名	所属・役職
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 総合施設長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事
会員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授
会員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 認知症未来社会創造センター センター長
会員	石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 教授
会員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室室長 リハビリステーション部 部長
会員	伊藤 善典	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 大学院保健医療福祉学研究科 教授
会員	上田 恵子	公益財団法人さわやか福祉財団
会員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会員	岡田 太造	一般財団法人日本民間公益活動連携機構 理事／元厚生労働省 社会・援護局長
会員	岡本 茂雄	ノバケア株式会社 代表取締役
会員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
会員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会員	小玉 剛	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
会員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長
会員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーションみけ 所長
会員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会員	清水 まや	医療法人社団仁牧会 大森牧田クリニック 事務長

役名	氏名	所属・役職
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授
会 員	竹林 洋一	静岡大学 創造科学技術大学院 特任教授
会 員	都築 真哉	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか福祉財団 理事
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
会 員	野中 久美子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 北事務所
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター西尾 センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健健康チーム チームリーダー・研究部長
会 員	船木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	古都 賢一	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長
会 員	山下 和彦	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 教授
会 員	山下 知子	了徳寺大学 健康科学部 看護学科 講師
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 こぶし 24 時間ケアサービスステーション リーダー
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
オブザーバー	込山 愛郎	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事長特任補／元 厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課長
オブザーバー	濱谷 浩樹	厚生労働省 保険局長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	4,303,640	3,894,475	△409,165
印刷製本費	2,950,000	2,896,364	△53,636
その他	2,950,000	2,896,364	△53,636
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	331,240	293,953	△37,287
会議費	0	4,631	4,631
研究会会議費	0	4,631	4,631
旅費交通費	360,000	23,793	△336,207
研究会会員旅費交通費	120,000	18,965	△101,035
その他	240,000	4,828	△235,172
通信運搬費	2,400	15,734	13,334
経常費用計	4,303,640	3,894,475	△409,165
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,303,640	△3,894,475	409,165
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,303,640	△3,894,475	409,165

経常費用は 389 万円で、予算比△41 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- コロナ禍で 6 回開催の全てがオンライン形態となったことにより、旅費交通費が予算を下回ったこと（△34 万円）
- 会議費、通信運搬費が予算を上回ったこと（+2 万円）、印刷製本費、租税公課が予算を下回ったこと（△9 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は6回開催（いずれもオンライン形態）いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第35回	2021年 2月10日 (水)	高齢者薬物療法の考え方／青島 周一（医療法人社団徳仁会 中野病院 特定非営利活動法人AHEADMAP 共同代表）
第36回	2021年 4月14日 (水)	令和3年度介護報酬改定と高齢者の薬物療法／南 亮介（厚生労働省 老健局 調整官）
第37回	2021年 6月9日 (水)	病院で取り組むポリファーマシー～ポリファーマシー外来について～／矢吹 拓（国立病院機構栃木医療センター 内科医長）
第38回	2021年 8月11日 (水)	薬剤師の処方適正化、薬物治療の適正化の役割／串田 一樹（前 昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座）
第39回	2021年 10月13日 (水)	睡眠薬における実践的なポリファーマシー対策／井上 真一郎（岡山大学病院 精神科神経科 助教 医局長）
第40回	2021年 12月15日 (水)	薬剤師の専門性に基づいた処方適正化支援と事前合意プロトコルによる薬薬連携／間瀬 広樹（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副薬剤部長）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 加齢医学講座 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学部門 臨床栄養代謝学部門 客員教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
会員	五十嵐 中	横浜市立大学 大学院データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 准教授
会員	石崎 達郎	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム チームリーダー・研究部長
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長 教授
会 員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所 研究事務室 室長（薬学 博士）
会 員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創 造機構）代表理事
会 員	岡崎 光洋	一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪医科薬科大学 薬学部 社会薬学・薬局管理学研 究室 教授
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部 学部長 教授
会 員	川添 哲嗣	高知大学医学部附属病院 薬剤部
会 員	岸本 桂子	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授
会 員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 講師
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 特別顧問
会 員	柴田 ゆうか	広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院 長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭 和大学 客員教授
会 員	成井 浩二	東京薬科大学 薬学部 医療薬学科 一般用医薬品学 教室 准教授
会 員	浜田 将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療 経済研究機構 研究部 主席研究員
会 員	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長／愛知 医科大学 特命教育教授
会 員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應 義塾大学薬学部K P会 監事
会 員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 ／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特 任研究員

役名	氏名	所属・役職
会 員	堀 美智子	株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者／スギホールディングス株式会社 社外取締役
会 員	舩本 祥一	筑波大学附属病院 地域総合診療医学 講師
会 員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおばの里
会 員	水上 勝義	筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 博士前期・後期課程 教授
会 員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部（日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師）
会 員	八木原 栄	東京都立府中療育センター 薬剤科 薬剤科長
会 員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授
会 員	山中 崇	東京大学 大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任准教授
会 員	吉尾 隆	一般社団法人 日本精神薬学会 理事長
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社 科学医療部 編集委員
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社 科学医療部 記者
オブザーバー	根本 英一	株式会社南山堂 「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	野出 典子	株式会社ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部 看護職員
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
オブザーバー	吉田 学	厚生労働事務次官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,138,500	515,490	△623,010
諸謝金	660,000	500,000	△160,000
セミナー講師謝礼	480,000	320,000	△160,000
その他	180,000	180,000	0
租税公課	43,500	1,380	△42,120
会議費	0	4,982	4,982
研究会会議費	0	1,482	1,482
その他	0	3,500	3,500
旅費交通費	432,000	9,128	△422,872
研究会会員旅費交通費	120,000	4,582	△115,418
その他	312,000	4,546	△307,454
通信運搬費	3,000	0	△3,000
経常費用計	1,138,500	515,490	△623,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,138,500	△515,490	623,010
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,138,500	△515,490	623,010

経常費用は52万円で、予算比△62万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 講師料辞退により、諸謝金が予算を下回ったこと（△16万円）
- コロナ禍で6回開催の全てがオンライン形態となったことにより、旅費交通費が予算を下回ったこと（△42万円）
- 通信運搬費、租税公課が予算を下回ったこと（△5万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、「これから生まれてくる人のために 2060 年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するために、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究しており、当事業年度は 12 回（いずれも対面・オンライン併用形態）開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

開催日	テーマ
2021 年 1 月 8 日 (金)	社会活躍度・グラフ提案
2021 年 2 月 12 日 (金)	長生きを喜ぶうえでの課題
2021 年 3 月 19 日 (金)	研究報告：一生のステージ設定と長生きを喜ぶための要素 テーマ報告：お金・しごと 2040 年の第 3 ステージにおいて長生きを喜べる姿とは
2021 年 4 月 16 日 (金)	研究報告：4 テーマにおける 2040 年に変化すること・変化しないこと（1.お金・しごと 2.いのち・健康 3.いきがい 4.つながり・社会）
2021 年 5 月 21 日 (金)	研究報告： 1.いきがい・やりがい・居場所・役割 2.2040 年の第 3 ステージにおいて長生きを喜ぶためのフレームワーク II 〈働く・お金編〉
2021 年 6 月 18 日 (金)	研究報告：これまでの研究の成果 1.介護労働総動員制度 2.世代間たすけあい講 3.パラレルキャリア促進制度 4.おせっかいさん育成事業
2021 年 7 月 9 日 (金)	研究報告：これまでの研究の成果報告（上半期）
2021 年 8 月 20 日 (金)	(1) 次世代が描く 2040 のビジョン (2) ビジョン実現のためのキーとなる取り組み
2021 年 9 月 24 日 (金)	今後の進め方について ・スケジュール ・冊子構成 ・論点整理
2021 年 10 月 15 日 (金)	目指す姿とそのための取り組み
2021 年 11 月 19 日 (金)	目指す姿の整理
2021 年 12 月 17 日 (金)	下半期研究報告

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
アドバイザー	後 房雄	愛知大学 地域政策学部 地域政策学科 教授／名古屋大学 名誉教授
アドバイザー	大貫 徹	国際ファッション専門職大学 教授／名古屋工業大学 名誉教授
アドバイザー	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
会員 リーダー	青山 幸一	豊根村役場 農林土木課長
会員 副リーダー	西岡 麻知子	南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター 部長 リハビリテーション部長（理学療法士）
会員	伊神 慎二	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 総務部 副部長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会（NPO ふくりび）事務局長
会員	大家 利之	中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 准教授／中京大学体育会 サッカー部 女子 監督
会員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター（医学博士・理学療法士）
会員	長谷川 友紀	コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事
会員	日渡 健介	一般社団法人未来医療研究機構
会員	三矢 勝司	特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長
会員	若杉 玲子	長久手市役所 市長公室次長 兼 秘書課長
オブザーバー	石田 芳弘	至学館大学 コミュニケーション研究所 所長／元 愛知県犬山市長
オブザーバー	大沢 勝	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 名誉会長／日本福祉大学 名誉総長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員
オブザーバー	加藤 明	愛知県 福祉局 介護推進監
オブザーバー	北川 薫	梅村学園 学事顧問／元 中京大学 学長／梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議 議長
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスクエア産業室 室長補佐
オブザーバー	今野 直明	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスクエア産業室長
オブザーバー	丹羽 則雄	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事／元 愛知県高浜市長
オブザーバー	安井 俊夫	専門学校愛知保健看護大学校 校長／元 愛知県教育長

役名	氏名	所属・役職
オブザーバー	山本 保	元 参議院議員・総務大臣政務官／ 元 厚生省児童福祉専門官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 C）

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,987,510	897,127	△6,090,383
印刷製本費	534,500	0	△534,500
その他	534,500	0	△534,500
諸謝金	1,670,000	360,000	△1,310,000
セミナー講師謝礼	920,000	0	△920,000
その他	750,000	360,000	△390,000
支払手数料	0	4,152	4,152
その他	0	4,152	4,152
租税公課	483,410	44,026	△439,384
広告宣伝費	300,000	0	△300,000
会議費	2,134,000	42,994	△2,091,006
研究会会議費	1,134,000	42,994	△1,091,006
セミナー会議費用	1,000,000	0	△1,000,000
旅費交通費	1,720,000	445,523	△1,274,477
研究会会員旅費交通費	1,700,000	445,523	△1,254,477
その他	20,000	0	△20,000
通信運搬費	145,600	432	△145,168
経常費用計	6,987,510	897,127	△6,090,383
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,987,510	△897,127	6,090,383
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,987,510	△897,127	6,090,383

経常費用は 90 万円で、予算比△609 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ コロナ禍でシンポジウム開催の見送り（△336 万円）のほか、研究会の対面・オンライン併用開催（△273 万円）により、経費全般が予算を下回ったこと

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般の方を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、年老いても、健やかに暮らしていくのに役立つ講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しており、当事業年度は東京・大阪・愛知・石川の4会場同時中継で1回開催いたしました。

概要は、以下のとおりです。

セミナー	開催日	テーマ／講師	参加人数
健康増進セミナー（東京・大阪・愛知・石川同時中継）	2021年 4月25日 （日）	健康を保つ方法：内科医のつぶやき／ 金子 周一（金沢大学附属病院 消化器内科 教授） 地域に貢献する薬局の役割／ 杉浦 伸哉（株式会社スギ薬局 常務取締役）	372名

また、2020年9月作成の「住み慣れたわが家、わが街で自分らしく暮らし続けるためのかんたんガイド」を約1,500部無償配布いたしました。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,728,801	1,102,027	△626,774
消耗品費	0	700	700
印刷製本費	0	50,000	50,000
その他	0	50,000	50,000
諸謝金	320,000	111,370	△208,630
セミナー講師謝礼	320,000	111,370	△208,630
支払手数料	0	58,910	58,910
その他	0	58,910	58,910
租税公課	6,891	29,543	22,652
広告宣伝費	40,910	0	△40,910
旅費交通費	28,000	40,165	12,165
セミナー講師旅費交通費	28,000	2,600	△25,400
その他	0	37,565	37,565
通信運搬費	0	145,690	145,690
減価償却費	1,333,000	665,649	△667,351
経常費用計	1,728,801	1,102,027	△626,774
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,728,801	△1,102,027	626,774
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,728,801	△1,102,027	626,774

経常費用は 110 万円で、予算比△63 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 健康増進セミナーを 4 回開催予定のところ、コロナ禍で 1 回開催となったことにより、諸謝金、広告宣伝費、セミナー講師旅費交通費が予算を下回ったこと（△27 万円）
- 映像撮影に係る印刷製本費、セミナー応募のウェブフォームに係る支払手数料、出張費用に係る旅費交通費（その他）の予算を計上していなかったこと（+15 万円）
- 予算外の通信運搬費が生じたほか、租税公課が予算を超過したこと（+17 万円）
- 減価償却費の予算が過大であったこと（△67 万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業」として、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を実施いたしました。

当該研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は158講座、登録受講者数は4,724名です。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	7,636,546	7,456,223	△180,323
研修事業会費	7,636,546	7,456,223	△180,323
経常収益計	7,636,546	7,456,223	△180,323
(2) 経常費用			
事業費	7,686,265	8,340,882	654,617
印刷製本費	2,300,000	2,112,000	△188,000
教材撮影編集費	2,300,000	2,000,000	△300,000
その他	0	112,000	112,000
諸謝金	750,000	700,000	△50,000
セミナー講師謝礼	750,000	700,000	△50,000
支払手数料	2,490,700	3,569,435	1,078,735
ID管理費	1,518,000	2,033,500	515,500
日本薬剤師研修センター認定費	360,000	365,000	5,000
その他	612,700	1,170,935	558,235
租税公課	△45,026	△23,248	21,778
広告宣伝費	40,000	0	△40,000
会議費	50,000	0	△50,000
セミナー会議費用	50,000	0	△50,000
旅費交通費	300,000	124,241	△175,759
セミナー講師旅費交通費	0	38,456	38,456
その他	300,000	85,785	△214,215
通信運搬費	1,005,591	1,220,120	214,529
減価償却費	795,000	638,334	△156,666
経常費用計	7,686,265	8,340,882	654,617
評価損益等調整前当期経常増減額	△49,719	△884,659	△834,940
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△49,719	△884,659	△834,940

経常収益は746万円で、予算比△18万円となりました。

また、経常費用は834万円で、予算比+65万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 受講者の増加により、支払手数料、通信運搬費が予算を超過したこと（＋74万円）
- セキュリティ強化に伴うクレジットカード決済会社の変更により、支払手数料が予算を上回ったこと（＋56万円）
- 受講サイト更新の翌期への延期により、減価償却費が予算を下回ったこと（△16万円）
- 印刷製本費、諸謝金、広告宣伝費、会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△50万円）、租税公課が予算を上回ったこと（＋2万円）

（5）公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,197,061	11,202,520	5,459
基本財産受取利息	71,061	76,520	5,459
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	33,836,109	26,506,975	△7,329,134
受取寄付金	33,836,109	26,506,975	△7,329,134
経常収益計	45,033,170	37,709,495	△7,323,675
(2) 経常費用			
事業費	0	3,021,616	3,021,616
支払手数料	0	184,347	184,347
その他	0	184,347	184,347
租税公課	0	18,431	18,431
給料手当	0	2,818,838	2,818,838
経常費用計	0	3,021,616	3,021,616
評価損益等調整前当期経常増減額	45,033,170	34,687,879	△10,345,291
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	45,033,170	34,687,879	△10,345,291

経常収益は、3,771万円、予算比△732万円となりました。

また、経常費用は302万円で、予算比＋302万円となりました。要因は以下のとおりです。

- 給与手当を予算計上していなかったこと（＋282万円）
- 決済ステーション（クレジットカード、払込票）による寄附金の受入れに係る支払手数料、租税公課を予算計上していなかったこと（＋20万円）

(6) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	9,163,891	26,506,975	17,343,084
受取寄付金	9,163,891	26,506,975	17,343,084
雑収益	71,060	259,330	188,270
受取利息	71,060	76,728	5,668
その他雑収益	0	182,602	182,602
経常収益計	13,234,951	30,766,305	17,531,354
(2) 経常費用			
管理費	12,633,013	17,351,922	4,718,909
役員等報酬	2,700,000	2,950,000	250,000
評議員報酬	1,000,000	1,150,000	150,000
理事報酬	1,300,000	1,400,000	100,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	29,661	△10,339
印刷製本費	3,598,000	728,467	△2,869,533
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	305,008	813,163	508,155
租税公課	812,028	531,628	△280,400
給料手当	0	7,360,756	7,360,756
支払寄付金	780,000	405,000	△375,000
広告宣伝費	1,326,180	1,629,762	303,582
ホームページ関連費用	1,326,180	1,629,762	303,582
会議費	703,500	326,181	△377,319
旅費交通費	933,000	347,151	△585,849
評議員旅費交通費	400,000	97,847	△302,153
理事旅費交通費	380,000	118,111	△261,889
監事旅費交通費	63,000	33,147	△29,853
職員旅費交通費	90,000	98,046	8,046
通信運搬費	384,600	800,765	416,165
電話料	102,000	98,985	△3,015
その他	282,600	701,780	419,180
減価償却費	220,697	695,198	474,501
雑費	650,000	554,190	△95,810
その他	650,000	554,190	△95,810
経常費用計	12,633,013	17,351,922	4,718,909
評価損益等調整前当期経常増減額	601,938	13,414,383	12,812,445
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	601,938	13,414,383	12,812,445

経常収益は、3,077万円で、予算比+1,753万円となりました。

また、経常費用は1,735万円で、予算比+472万円となりました。主な要因

は以下のとおりです。

- 給与手当を予算計上していなかったこと（＋736万円）
- ホームページサーバ変更、寄附金申込ウェブフォーマット導入に伴うサポート費用、オンライン会議アプリケーション使用料の発生により、支払手数料、広告宣伝費、減価償却費が予算を上回ったこと（＋129万円）
- 評議員会、理事会の対面・オンライン併用形態での実施により欠席者が減少し、役員等報酬が予算を上回ったこと（＋25万円）
- 活動報告書を簡易版で対応したほか、コロナ禍で各種会合での配布資料のコピー代が削減され、印刷製本費が予算を下回ったこと（△287万円）
- コロナ禍で会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△96万円）
- 通信運搬費が予算を上回ったこと（＋42万円）、消耗品費、支払寄付金、雑費、租税公課が予算を下回ったこと（△76万円）

2021年度（第7期）寄附金受入状況

当事業年度の寄附金の受入状況は、以下のとおりです。

- 総件数 927 件
うち法人から 310 件、うち個人から 617 件
- 総 額 53,013,950 円
うち法人から 42,190,000 円、うち個人から 10,823,950 円

なお、寄附金取扱規程に基づき、受取寄付金として公益事業共通に 26,506,975 円を、一般事業に 26,506,975 円をそれぞれ計上しております。

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書2～3頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 7,852 万円（前年度比+900 万円）に対し、経常費用は、事業費 4,263 万円（前年度比△2,697 万円）、管理費 1,735 万円（前年度比△474 万円）、合計 5,998 万円（前年度比△3,170 万円）でした。当期経常増減額は+1,855 万円（前年度比+4,071 万円）となり、経常外増減がありませんでしたので、当期一般正味財産増減額も 1,855 万円（前年度比+4,071 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 2,540 万円から+1,855 万円の 4,394 万円となりました。

指定正味財産増減の部では増減がありませんでしたので、指定正味財産期末残高は期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 208 億 9,186 万円（前年度比+1,855 万円）となりました。

正味財産増減計算書の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	78,523,401	69,519,380	9,004,021
(2) 経常費用			
事業費	42,625,772	69,593,328	△26,967,556
管理費	17,351,922	22,088,164	△4,736,242
経常費用計	59,977,694	91,681,492	△31,703,798
評価損益等調整前当期経常増減額	18,545,707	△22,162,112	40,707,819
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	18,545,707	△22,162,112	40,707,819
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	18,545,707	△22,162,112	40,707,819
一般正味財産期首残高	25,399,172	47,561,284	△22,162,112
一般正味財産期末残高	43,944,879	25,399,172	18,545,707
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,891,855,251	20,873,309,544	18,545,707

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、前年度比+1,793 万円の 3,747 万円となり、その主因は、現金預金が前年度比+1,843 万円となったことにあります。

固定資産は、前年度比△142 万円の 208 億 6,139 万円となり、要因は、ソフトウェア (寄附金申込フォーム、インターネット研修会費決済フォーム)、投資有価証券の増加額が 60 万円、償却による減少額が 202 万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比+1,651 万円の 208 億 9,886 万円となりました。

流動負債は、前年度比△204 万円の 700 万円となり、その主因は、杉浦賞・杉浦助成の授与式の開催時期が 11 月から 7 月に戻ったことにより未払金が前年度比△318 万円となったことにあります。固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 8 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,343,274	15,912,569	18,430,705
その他の流動資産	3,124,087	3,627,188	△503,101
流動資産合計	37,467,361	19,539,757	17,927,604
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,982,641	20,847,918,572	64,069
基本財産合計	20,847,982,641	20,847,918,572	64,069
(3) その他固定資産			
什器備品	775,601	1,501,184	△725,583
ソフトウェア	2,560,584	3,384,182	△823,598
投資有価証券	10,072,269	10,008,200	64,069
その他固定資産合計	13,408,454	14,893,566	△1,485,112
固定資産合計	20,861,391,095	20,862,812,138	△1,421,043
資産合計	20,898,858,456	20,882,351,895	16,506,561
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,802,746	5,985,069	△3,182,323
前受金	4,186,165	3,000,000	1,186,165
預り金	14,294	57,282	△42,988
流動負債合計	7,003,205	9,042,351	△2,039,146
負債合計	7,003,205	9,042,351	△2,039,146
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	20,847,910,372	20,847,910,372	0
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産	43,944,879	25,399,172	18,545,707
(うち基本財産への充当額)	72,269	8,200	64,069
正味財産合計	20,891,855,251	20,873,309,544	18,545,707
負債及び正味財産合計	20,898,858,456	20,882,351,895	16,506,561

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2021年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役
副理事長	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役 事業本部長
理事	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 加齢医学講座 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
	中井 加代子	元 公益社団法人愛知県看護協会 会長
	鍋島 俊隆	藤田医科大学 客員教授／特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 理事長／アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）名誉教授／名古屋大学 名誉教授
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長
	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長
	堀 美智子	株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者／スギホールディングス株式会社 社外取締役
監事	山村 恵子	藤田医科大学 医療科学部 先進診断システム探索部門 高度薬学情報管理学 教授
	加藤 克彦	加藤克彦公認会計士税理士事務所 所長
	神谷 誠	公認会計士税理士神谷誠事務所 所長 スギホールディングス株式会社 社外監査役

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2021年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評 議 員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	上野 桂子	元 一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長(現 顧問)
	木村 隆次	一般社団法人青森県薬剤師会 会長／公益社団法人青森県介護支援専門員協会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学 大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座 地域在宅医療学 老年科学分野 教授
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学部門 臨床栄養代謝学部門 客員教授
	白澤 政和	国際医療福祉大学 大学院 教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
	高橋 紘士	東京通信大学 教授／一般社団法人高齢者住宅協会 顧問／一般社団法人全国居住支援法人協議会 顧問／一般社団法人全国日常生活支援住居施設協会 顧問／一般社団法人全国ホームホスピス協会 理事
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員／一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 理事長
	水流 聡子	東京大学総括プロジェクト機構「QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座／東京大学 大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長(現 顧問)
伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長／愛知医科大学 特命教育教授	

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2021年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	2名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2021年1月18日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件
2021年2月22日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2020年度（第6期）事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第6回定時評議員会招集の件
2021年3月11日 理事会	【決議事項】 ・理事長（代表理事）及び副理事長（代表理事）選定の件 ・第10回杉浦地域医療振興賞承認の件
2021年5月13日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第10回杉浦地域医療振興助成実施の件
2021年7月8日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2021年9月10日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」の有料受講者拡大を図るための外部事業者との連携の件 ・監事選任に係る評議員会書面決議手続きの件
2021年12月9日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2022年度（第8期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・第11回杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに第11回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2021年3月11日 第6回定時評議員会	【報告事項】 ・2020年度（第6期）事業報告書報告の件 【決議事項】 ・2020年度（第6期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・理事8名選任の件 ・監事2名選任の件
2021年9月28日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・監事1名選任の件
2021年12月22日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2022年度（第8期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

2021 年度（第 7 期）事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項の規定に基づいて記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

2022 年 2 月

公益財団法人杉浦記念財団